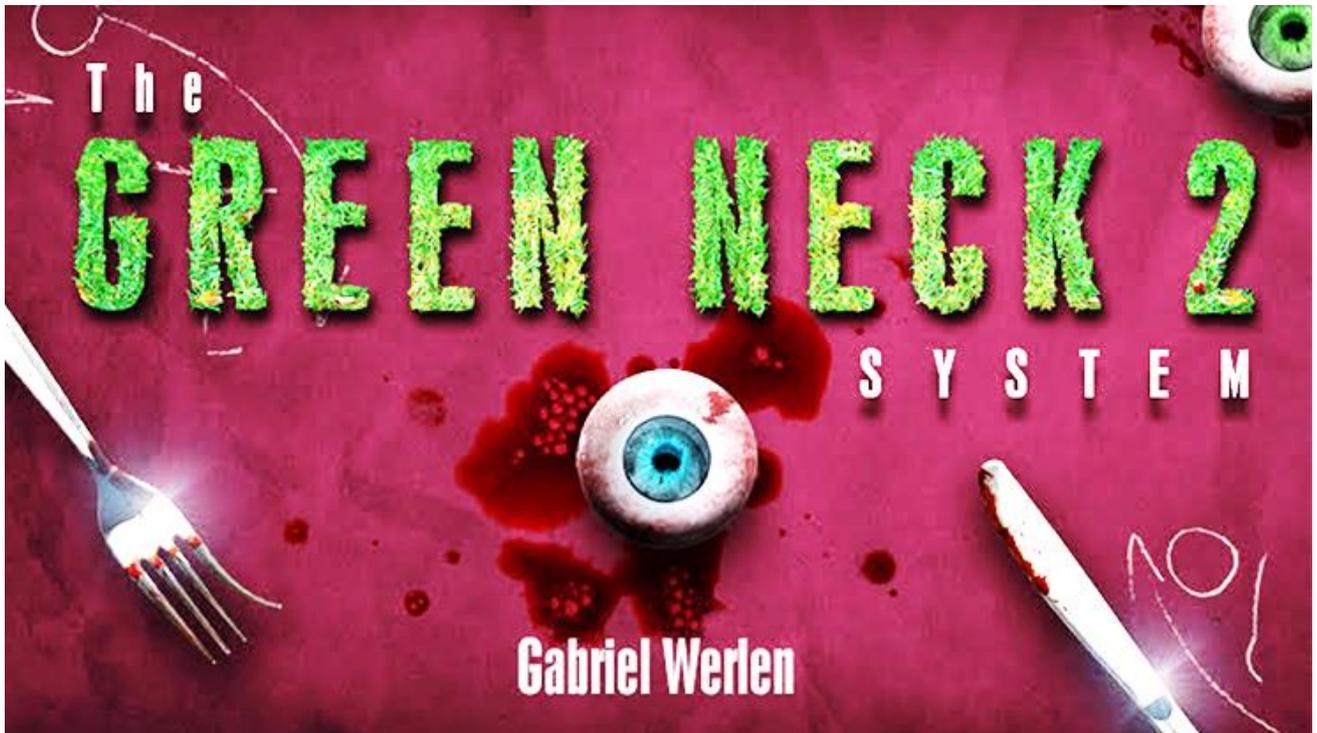


# グリーンネックシステム2



## < 翻訳: 平賀義達 >

(訳注1 : 著者の GABRIEL WERLEN (フランス人) は、BOB HUMMER の有名な「MATHEMATICAL 3 CARD MONTE」に魅せられていました。そして、原案に必要な1枚のカードのマークをせずに出来ないか、を追求しました。そして、2006年に生まれたのが「THE GREEN NECK SYSTEM」です。著者はそれを、3種類の食器をいじっている時に思いついたので、フランス語の食器「COUVERT」→「COU VERT」が文字通り英語の「GREEN (VERT) NECK (COU)」を意味することから、「GREEN NECK SYSTEM」と名付けました。

彼は約10年間、やり方を秘密にしていたが、友人の勧めで2017年に最初の本「THE GREEN NECK SYSTEM」を出しました。それはとても評判になりましたが、その後の研究成果をまとめたのが、本書です。主な内容は以下の3つです：

- 「GNS」の基本原理を使った、その後の作品
- 使う品物の数を5つに増やしたやり方と作品
- 品物の位置をフォースする2つの違うやり方と作品

全部で24の作品があり、変化に富んだ内容です。中には、やや凝り過ぎかなと思うものもありますが、やり方を知らなければ絶対に分かりません。

この手のトリックをあまりやらない人やベテランの人にも、「面白い」と思わせるものが必ずあると思うのでじっくりと読んでみてください。損はしないと思います)

(訳注2：スプーンやナイフ、フォークは英語では「CUTLERY」で、正確には「食卓用金物」ですが、訳文中では単に「食器」としたことをお断りしておきます。なお、「UTENSILE」という単語も出て来ますが、こちらは本来「家庭用品」など、より広い「用具」の意味です。こちらも「食器」としてあります)

## はじめに (要約)

私は2006年に「THE GREEN NECK SYSTEM」(以下「GNS」)を考案しましたが、その直後からいくつもの、新しい使い方やサトルティーが湧き出てきたのには驚きました。

友人のSYLVAINとMAXIMEに口説かれて、2017年にはじめて文献の形にしましたが、大きな流れはそこでも止まりませんでした。

世界中のメンタリストからアイデアが寄せられ、「箸を交換しても1本の箸しか残らないが、アイデアを交換すれば2つのアイデアが残る」という中国のことわざの言う通りの状態となりました。

この本の前半は、最初の本の基本原理を応用したいろいろなメンタリストの作品が中心となっています。

しかし、この間に私には新しいアイデアも浮かびました。例えば、「GNS」の原理を「フォース」として使うことです。それにより、新しいタイプのエフェクトを生み出すことが可能となりました。例えば、私の企業向けショーの最後に使うようになった、本書の「CLUE」などがそうです。

また、MAX MAVENの「KUROTSUKE」タイプのエフェクトでも、発想を変えることで、スタート時の位置をまったく知ることなく行えるようにしました。本書の「KUROTSUVOICE」です。

さらに、私には品物の数を3つより増やせないかという考えも浮かびました。その謎を解くために、私は未知の世界に踏み込んで暗中模索することになりました。私の頭は、研究と実験でフル回転となりました。いくつもの行き止まりにぶつかり、無数の紙を費やしましたが、ついに新しいルーティンが出来た時の喜びは今でも忘れません。

こうして本書でも、3つより多い品物を使って行ういくつかのルーティンを、新しい可能性を示すものとして紹介することが出来ました。中でも「MENTAL ARTIST」は見逃さないでください。そこでは5つの絵を使いますが、プレゼンテーションとやり方が完全にマッチして、うまくやり方を隠しています。

この本はそこまで終わっても良かったのですが、随分迷ったあげくにこの10年を費やして仕上げてきた、オリジナルの新しいツールである「EQUILIBRIUM FORCE」も紹介することになりました。今

日までその秘密をガードしてきたものです。

「GNS」とはまた違った、品物の入れ替えをフリーに感じさせるやり方であり、「GRS」との相性も良く、皆さんに紹介しないのはフェアでないと感じて本書に含めたものです！

もう言葉は十分でしょう・・・私が何年にもわたって研究してきた成果を、私同様に楽しんでいただければ幸いです。

楽しい読み物となりますように！

GABRIEL WERLEN

## **THE GREEN NECK SYSTEM RELOADED**

この本の最初のセクションでは、「GREEN NECK SYSTEM」（以下「GNS」）を使った新しいオリジナルのルーティンを紹介します。

中心となるシステムは最初の本に、深く理解できるように解説してあります。しかしながら、以下のルーティンを演じるためには、その本がなくても大丈夫です。

### TELEPATHY：テレパシー

まず初めに、「GNS」をカードを使った純粋な思考の読み取り現象に応用した、JAN FORSTERの珍しいアイデアを紹介したいと思います。これは最初の本にあった「ALA CARTE」のヴァリエーションであり、「GNS」を知らない人にそれがいかに効果的かを教えてくれるでしょう。

（やり方）

—以下省略—

### MENTAL MONTE：メンタルモンテ

コロナの時代には、多くのメンタリストが「GNS」が「ネット」でのプレゼンテーションに適したものだと感じました。「THE BUENA VISTA SHUFFLE CLUB」の著者でもあるアメリカのメンタリスト、MATT BAKERは彼のヴァーチャルショーのためにこのルーティンを開発しました。私とADAM ELBAUMがそれに若干のアドバイスをしました。

（現象）

客がリモートのヴァーチャルショーに参加しました。メンタリストは参加者全員に、家にある1組のカードから3枚のカードを取り出すように指示し、メンタル「THREE CARD MONTE」を行うと言います。

参加者は皆、3枚のうちの1枚を自由に選びますが、メンタリストは「カードはカメラに移さないように」と言います。

参加者は3枚のカードをミックスして覚えたカードの位置がどこか分からなくします。

参加者が自分のカードを1枚ずつカメラに見せて行きますが、その都度「これは私の覚えたカードではありません」と言います。すると、メンタリストは参加者がどこで嘘を言ったかを見破ってしまい、参加者が覚えたカードを明らかにしてみせるのです！

(やり方)

—以下省略—

## MANTRA : マントラ

「GNS」を使ったエフェクトを行う場合には、メンタリストが後ろ向きになりますが、そこに微妙な問題が発生します。というのは、後ろ向きでしゃべると、うるさい場所、あまり集中していない客達には聞こえないという問題です。

そこで、「入れ替え」のパターンはいつも同じなので、PIERRE ACOURT (「4 SWITCH AND COGITA」の著者) は、客の選択の前に指示を紙に書いておくというアイデアを発表しました。これにより、メンタリストは後ろを向く必要もなくなりました。以下は、そのアイデアを基に構成したトリックです。

(現象)

メンタリストは客に3枚の名刺と3つの小物を渡します。名刺の1枚には太陽、2枚には雲の絵が描いてあり、太陽は「成功」を、雲は「失敗」を表わすと言います。

小物については、コインは「富、仕事」を、キーは「家族、健康」、指輪は「愛」を表わすと説明します。

メンタリストは「神秘の文」(MANTRA) を書くので、その間に客に名刺を誰にも分からない順番に並べさせます。さらに、小物を各名刺の上に1つずつ好きなように置かせます。客に品物が表すもの1つを思わせませす。それをハッキリさせ、意識に焼き付けるために、思わなかった2つの小物を入れ替えさせます。

次に客に「神秘の文」にしたがって、小物を移動させます。「あなたが、富と家族を入れ替え、家族と愛を入れ替え、愛と富を入れ替えたならば、あなたの望みはかなうだろう！」

客がその通りに小物を動かすと、客の望みを表わした小物が太陽の名刺の上に来るのです。すなわち、客の望みは成就したのです！

(やり方)

—以下省略—